

LDの「定義」を再考する

～教育定義の誕生から〈20年〉の今こそ～

会期 2019年11月9日(土)～10日(日)

会場 パシフィコ横浜 会議センター

● 大会会長 小貫 悟 (明星大学)

● 事務局長 村山 光子 (明星学苑)

◆ 特別講演

1. LDへのCross-Battery Assessmentの方法
Dawn P. Flanagan (St. John's University, USA)
2. 実行機能から見たLDへの介入
George McCloskey
(Philadelphia College of Osteopathic Medicine, USA)

◆ 教育講演

教育講演パート1 〈知っ得!〉時代を変えるキーワード

1. 米国でのUDL 川俣智路 (北海道教育大学院)
2. 法律家が語る合理的配慮 坂生雄一 (AK法律事務所)
3. 発達障害と性 吉野智子 (早稲田大学)
4. 発達障害者へのコーチング 秋元孝城 (明星大学)

教育講演パート2 〈いまさら聞けない〉技法論 キホンのキ

5. ビジョン・トレーニング ... 奥村智人 (大阪医科大学LDセンター)
6. 就労支援 相澤欽一 (障害者職業総合センター)
7. 感覚統合法 三和 彩 (美幌療育病院)
8. 薬物療法 ... 原田剛志 (医療法人悠志会パークサイドこころの発達クリニック)
9. ペアレント・トレーニング 本田恵子 (早稲田大学)

◆ 大会企画シンポジウム LDの「定義」を再考する

- I. LDの〈定義〉はどう作られていったのか
- II. LDの定義からいかに〈診断・判断〉を行うのか
- III. LDをどう正確に診断・判断し〈対応〉に結びつけるのか
- IV. LD定義を前提にした合理的配慮とは
- V. LDの診断・判断の〈未来〉を探る
- VI. LDの定義を再考する～大会企画シンポジウムを振り返って

◆ 学会企画シンポジウム

発達障害を中心とする教員免許状の創設に向けて
～通級指導教室・特別支援学級における
指導の専門性を確保するための施策～

◆ 研究委員会企画シンポジウム

LD等通級指導教室の現状と課題

◆ 国際委員会企画シンポジウム

発達障害者へのコーチングの方法
David R. Parker (Children's Resource Group, USA)

◆ LD-SKAIP委員会企画シンポジウム

◆ 倫理委員会企画シンポジウム

◆ LD-SKAIPブース、アクセシビリティブース、
被災地支援委員会ポスター展示、
広報委員会ポスター展示 親の会企画シンポジウム
その他



イラスト
奈良裕己

